

Course number		U-LAS70 10001 SJ50			
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：コントラクトブリッジで身に着ける論理的思考力		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Agriculture Professor,KOSUGI KENICHIROU	
	ILAS Seminar :Learning of logical thinking by contract bridge				
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences		Number of credits	2	Number of weekly time blocks 1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2025・First semester		Quota (Freshman) 25 (15)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods Tue.5
Classroom	12, Yoshida-South Campus Academic Center Bldg. East Wing				Language of instruction Japanese
Keyword	エンタテインメントおよびゲーム情報学関連 / コントラクトブリッジ / 論理的思考力 / 情報処理力 / 国際的な社交性				
[Overview and purpose of the course]					
<p>この授業は，世界で最も知的かつエキサイティングなゲームといわれるコントラクトブリッジ（以下，ブリッジとする）を通じて，論理的思考力を養うことを目的としている。</p> <p>ブリッジは世界中に約1億人の愛好家がいるカードゲーム（トランプで楽しむゲーム）であり，世界ブリッジ選手権や学生選手権も開催されている。アジア競技大会では，マインドスポーツのカテゴリーにおいて，チェスや囲碁などと共に正式競技となっており，2023年杭州大会では，日本チームが銅メダルを獲得している。</p> <p>ブリッジのゲームは，契約（コントラクト）とその履行・妨害によって構成されており，複雑に絡んだ情報を論理的に整理した上で最適解を導き出す思考力が必要とされる。ブリッジにより培われる論理的思考力は，今後の研究活動に役立ち，ITの基礎となるプログラミングやアルゴリズム開発などにも貢献する。また，現代社会の根底にある「契約と履行」の概念を具現化して学ぶこともできる。ブリッジは世界的に広く普及しており，国内でも近年知名度が上がりつつあるため，国内的・国際的な教養・社交性を身に着ける上でも大いに役に立つ（実際に私は，アメリカ留学中にブリッジを通じて多くの研究者と交流することができた）。</p> <p>国内では，東京大学，早稲田大学，大阪大学などでもブリッジの授業が行われた実績がある。本授業は，毎回の座学と実習を通じてブリッジを楽しみながら，論理的思考力を身に着けることができる構成となっている。ただし，ブリッジは非常に奥が深く，学習すべき内容が多岐にわたり量も多いため，授業について行くためには毎回の出席と予習・復習が欠かせない。「たかがトランプの遊び」という安易な気持ちでは無く，まじめに取り組む必要がある。</p>					
[Course objectives]					
<p>コントラクトブリッジの基本的な技術を習得し，ゲームを楽しむことができる。</p> <p>情報処理のスキルを身に着け，論理的思考をすることができる。</p> <p>教養を身に着け，社会活動の幅を広げることができる。</p>					
[Course schedule and contents)]					
第1回	ミニブリッジで学ぶ論理的思考		：イントロダクション，ルール説明		
第2回	ミニブリッジで学ぶ論理的思考		：切り札なしでのプレイ1		
第3回	ミニブリッジで学ぶ論理的思考		：切り札なしでのプレイ2		
第4回	ミニブリッジで学ぶ論理的思考		：切り札ありでのプレイ1		
第5回	ミニブリッジで学ぶ論理的思考		：切り札ありでのプレイ2		
Continue to ILASセミナー：コントラクトブリッジで身に着ける論理的思考力(2)					

- 第6回 ブリッジで学ぶ論理的思考：オークションの導入
第7回 ブリッジで学ぶ論理的思考：ビディングシステム
第8回 ブリッジで学ぶ論理的思考：コンベンション
第9回 ブリッジで学ぶ論理的思考：オーバーコール，ダブル
第10回 ブリッジで学ぶ論理的思考：練習試合
第11回 ブリッジを実戦形式でやってみる：チーム戦のルール解説
第12回 ブリッジを実戦形式でやってみる：チーム内練習
第13回 ブリッジを実戦形式でやってみる：チーム戦（1回戦）
第14回 ブリッジを実戦形式でやってみる：チーム戦（決勝戦・3位決定戦）
第15回 フィードバック（個別の質問等に対応する）

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

平常点（授業への参加状況，授業内での発言，実習への取り組み状況）により評価を行う。到達目標の達成度を基準とする。

4回以上授業を欠席した場合は不合格とする。

なお詳細については，初回授業で説明する。

[Textbooks]

Not used

自作の資料を用いて授業を行う。

[References, etc.]

（References, etc.）

清水 映樹『ゼロからのコントラクトブリッジ』（星雲社，2013）ISBN:9784434183799（入門書。復習に役立ちます。）

[Study outside of class (preparation and review)]

PandAにアップロードされた講義資料を用いた予習・復習が重要。

毎回の出席が重要。毎回の授業で新しい内容が解説されるので，欠席すると取り残されます。

[Other information (office hours, etc.)]

授業に関する学習コミュニティとしてPandAを活用します。

授業中の積極的な質問や発言を期待します。

授業内容に関する質問やリクエストはPandAのメール機能などを活用して受け付けます。